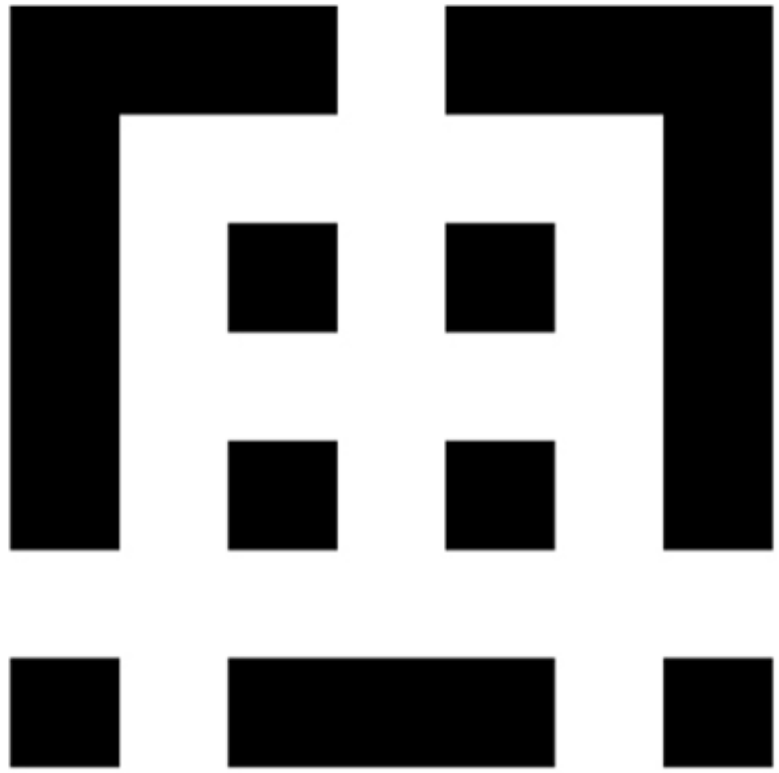


REBIRTH
PROJECT

代表　伊勢谷 友介

REBIRTH PROJECT

共同代表　龜石 太夏匡

「人類が地球に生き残るために一」

代表 伊勢谷友介、共同代表 龜石太夏匡のもと集結したさまざまな才能を持つアーティスト、クリエイターやプロデューサーの集団です。衣食住、教育、町おこしまで、さまざまな領域の社会課題をクリエイティブな視点から解決しています。

会社概要

社　名：株式会社リバースプロジェクトトレーディング

設　立：2016年4月

代　表：河合　崇（TAKASHI KAWAI）

資本金：900 万円

所在地：東京都中央区日本橋横山町7-14 横山町ログズビル4階

大阪市北区梅田2-5-4 千代田ビル西館10階C

愛媛県今治市北日吉町2-8-20 プレジール1階

代表　河合崇

主な業務内容

① リバースプロジェクトの経営理念に基づき、「衣・食・住」を取り扱う商社部門

② 四国地域産品のブランディング、国内外での販促と販売（愛媛シルクプロジェクト）

③ 企業別注制服の企画、生産、販売　（全日本制服委員会）

「愛媛シルクプロジェクト」の官民連携

リバースプロジェクトトレーディング

繭を活用した新商品開発
ブランディング
出口戦略

連携

愛媛県内 各自治体

桑畑面積拡大

桑生産目標
2015 年 34,000kg→2020 年 70,000kg

↓

繭の需要創出

↓

繭生産量増

↓

既存養蚕農家の収入増

↓

新規養蚕農家数増、繭生産量増

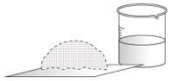
↓

養蚕復活

「愛媛シルクプロジェクト」の商品開発、製造、販路開拓

西予市　養蚕農家
（JAひがしうわ養蚕部会）
繭

西予市　野村シルク博物館
キビソ、ビス等



ナノフィブロイン
製造工場

原料供給

㈱リバースプロジェクト
トレーディング

加工依頼

imabari towel Japan

今治市
タオルメーカー

スカーフ、ストール
メーカー

西予市　ほわいとファーム
乳製品

石鹸類
メーカー

ソープ類、クリーム類
メーカー

㈱プロテックス・ジャパン
ヘアケア類
（ｼｬﾝﾌﾟｰ、ﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ、ﾍｱｵｲﾙ、育毛剤等）

2016年度

ポップアップ店
ハワイ

MAGIC
ラスベガス

伊織24店舗
国内販売

2017年度

MAGICから展開
米国での販路開拓

機内・WEB販売

大手流通
国内販売

ひめくら（愛媛県産品アンテナショップ）
ポップアップ店　東京、大阪、九州他

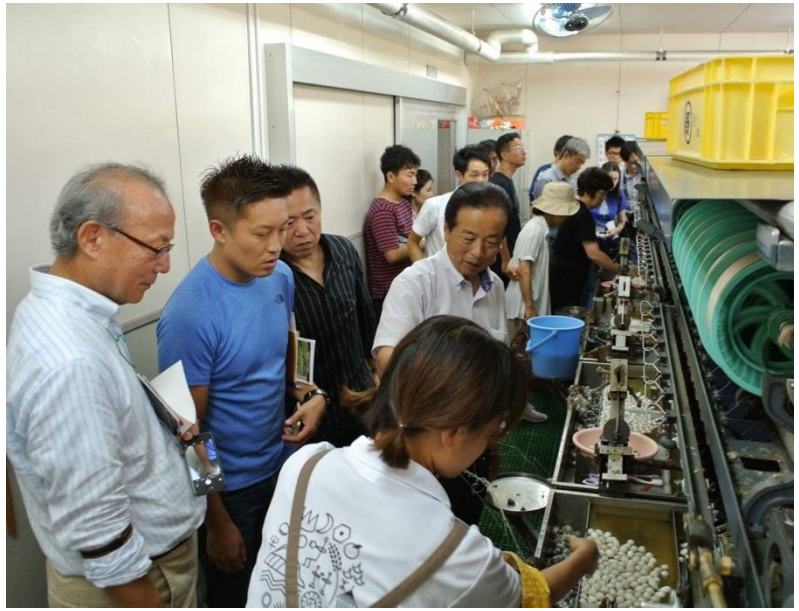
Gift Show　FOODEX JAPAN

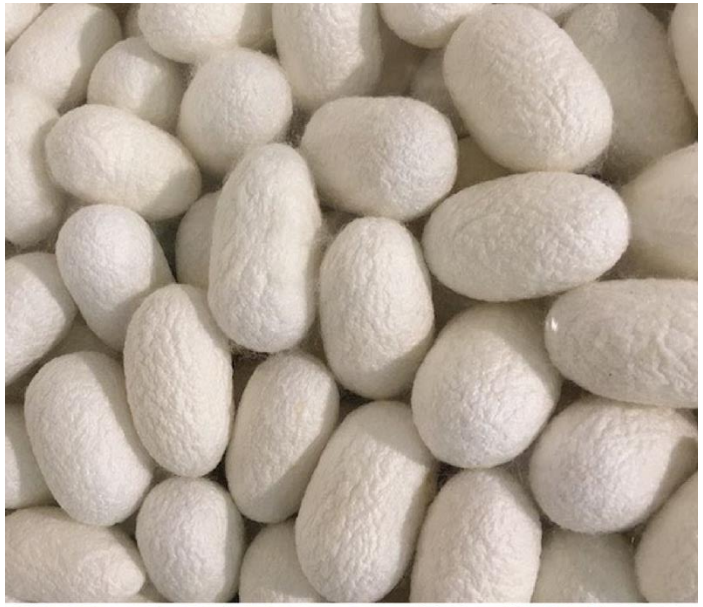
PREMIÈREVISION

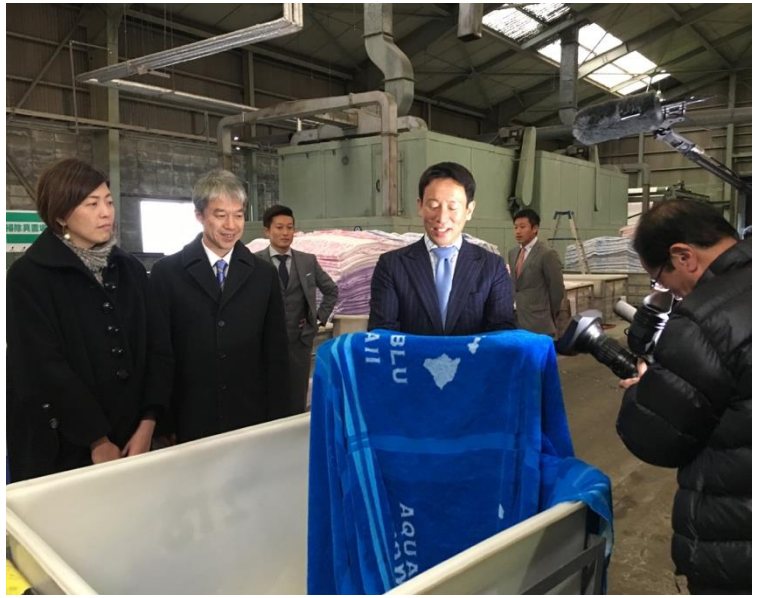
NY NOW
THE MARKET FOR HOME, LIFESTYLE + GIFT

国内外展示会

2016年度　ふるさとグローバルプロデューサー育成支援事業







伊予銀行　ビジネスプランコンテスト2016　最優秀賞受賞

いよぎん新規事業コンテスト

伊予生糸活用 最優秀

東京のリバース社 海外展開計画

地域活性化につながる新規事業を支援する「いよぎんビジネスプランコンテスト」のプレゼンテーション審査が29日、松山市南堀端町の伊予銀行本店であり、最優秀賞に西予市特産の伊予生糸（いよいと）の海外展開を計画しているリバースプロジェクトトレーディング（東京）が選ばれた。

リバース社は「愛媛シルクプロジェクト」と銘打ち、伊予生糸を原料にした今治タオルやスカーフなどの商品開発に取り組んでおり、2017年には米国などで商品発表する。河合崇代表取締役は「繭から生糸になるのは15％しかない」として、残りを化粧品やサプリメントに活用できれば、収益性が上がると指摘。「事業を通して養蚕復活と地域創生に貢献したい」と語った。

コンテストには94件の応募があり、書類審査を通過した11件がプレゼンに臨んだ。世界的建築家の伊東豊雄氏も登壇し、今治市大三島で取り組んでいるブドウ栽培やワイナリー建設の状況を発表した。（岩田太）

他の受賞団体・個人は次の皆さん。

【優秀賞】宋恵真（愛南町）

【部門賞】スタートアップ賞　手すき和紙森田屋（西条市）▽グロース賞　大三島みんなのワイナリー（今治市）

【テーマ賞】観光促進賞　かすがいジャパン（同）▽ICT活用賞　オーエムアイ（大洲市）▽1次産業活性化賞　菊池史行（八幡浜市）▽南予活性化賞　山内大輔（内子町）▽地域貢献賞　浜村駿介（松山市）▽奨励賞　中野恵子（新居浜市）

【審査員特別賞】上浮穴高校報道部（久万高原町）

伊予生糸を原料にした今治タオルなどの商品化に取り組むリバースプロジェクトトレーディングの河合崇代表取締役
＝29日午前、松山市南堀端町

愛媛新聞 2016年11月30日

ハワイでのSILMORE（シルモア）商品発表、ラスベガス「MAGIC」出展

6/23 愛媛県 中村知事 表敬訪問

愛媛

松山総局
〒790-0003
松山市三番町
4-9-6
NBF松山日銀前ビル
☎ 089(941)0155
fax (941)0125
mail:matsuyama@asahi.com

新居浜支局
☎ 0897(33)2237
fax (32)3344

四国中央支局
☎ 0896(23)5233
fax (23)5236

今治支局
☎ 0898(22)0089
fax (22)0094

八幡浜支局
☎ 0894(22)0654
fax (22)4625

宇和島支局
☎ 0895(22)0046
fax (22)3753

購読のお申し込み
配達お問い合わせ

「伊予生糸」復活へ 繭の「きびそ」を活用

今治タオル・スカーフ発売、せっけん・化粧品も計画

県産の生糸「伊予生糸」の生産過程で捨てられていたものを生かして作られた今治タオルやスカーフが23日から松山市内で発売された。俳優の伊勢谷友介さんが代表を務める会社の関連会社が商品化した。県内の養蚕業を元気づけることを目指す。

会社は、伊勢谷さんが代表を務め、捨てられていたものをデザインの力で商品によみがえらせる活動をしている「リバースプロジェクト」の商社部門「リバースプロジェクトトレーディング」(今治市)。

県内では西予市野村町が生糸産地として知られ、伊勢神宮の御料生糸として採用されるなど高い評価を得ている。昨年には農林水産省の「地理的表示保護制度」に「伊予生糸」で登録された。しかし、衰退が深刻で、かつては約270トンあった繭の生産量は2014年度は約1.3トンにとどまっている。

生糸を再活用したタオルや化粧品など

生糸を紡ぐ際、繭の約15%だけが使われる。最初に蚕がはき出した部分は「きびそ」と呼ばれ、硬いため廃棄されることがほとんどという。

同社は、伊予生糸のきびそに着目し、昨年10月に「愛媛シルクプロジェクト」として取り組みを始めた。公益財団「えひめ産業振興財団」の助成を受け、きびそと、軟らかい質感の綿糸を混ぜて紡いでタオルを製作し、「今治タオル」のブランド認定を得た。スカーフにも仕上げた。

きびそから、保湿などに役立つとされるたんぱく質「フィブロイン」を抽出し、せっけんやボディーソープも開発した。大阪市の化粧品会社「プロテックスジャパン」と協働し、化粧品やヘアケア製品の開発・販売も計画している。

伊勢谷さんは23日に県庁を訪れ、中村時広知事に商品を紹介した。伊勢谷さんは「愛媛は生糸の産地として重要。新たな絹の使い道をつくり、愛媛から世界に発信していければ」と話した。

今治タオルやスカーフは23日から松山全日空ホテル1階のショップ「ひめくら」で販売されている。 (前田智)

中村時広知事(右)に新商品を説明する俳優の伊勢谷友介さん=県庁

俳優の伊勢谷さん 知事に商品PR

シルクの持つ用途や可能性の広がりをイメージし「SILK＋MORE」で「SILMORE（シルモア）」というブランドが生まれました。
ロゴは”繭”とそこに秘めたあらゆる可能性が”無限大（∞）”であることを表現しています。

SILMORE

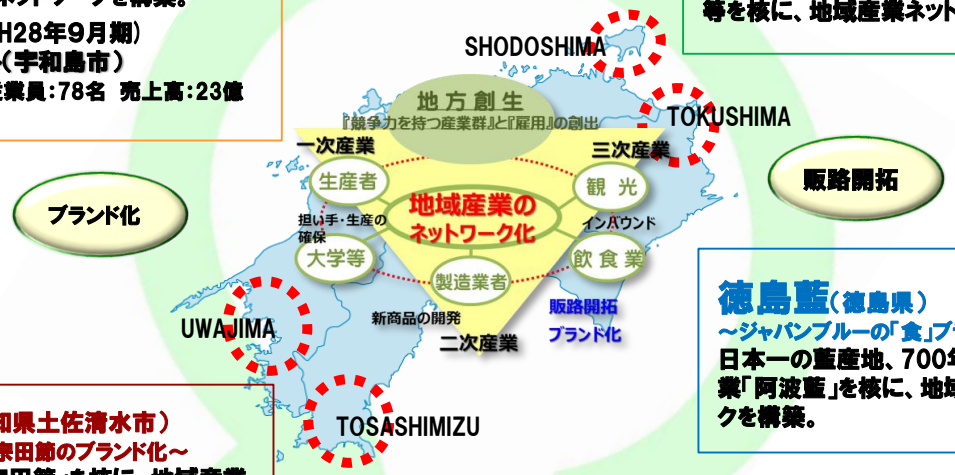
一次産業を核としたブランドづくり・地域商社ネットワーク構築等支援事業

【プロジェクト概要】

全国的に比較優位のある一次産品を磨き、多様化する消費者ニーズに対し、加工品等の二次産業や流通、販売、さらにはインバウンドの取り込みも視野に入れた三次産業への展開による、高付加価値化やブランド化を進め、マーケットインの食・観光・健康産業の創出や、地域連携による好循環モデルの構築を目指すとともに、2020年の東京オリパラピックに向けて、世界に通用するフードビジネスの育成、インバウンド需要の拡大等を図る。
具体的には、地域商社機能を有する地域の中核企業を核とした地域産業ネットワークの構築とともに、地域資源を活用した高付加価値商品（食・観光等）の開発など、成長産業モデル地域の強化・ネットワークの構築を図り、国内外に向けた戦略的な情報発信、販路開拓等を実施。

鯛・ブリ等（愛媛県宇和島市）
～養殖魚のブランド化・販路開拓～
日本一の養殖産業集積地。「鯛・ブリ等の養殖魚」を核に、地域産業ネットワークを構築。
【中核企業】（データはH28年9月期）
・㈱宇和島プロジェクト（宇和島市）
資本金：2800万円　従業員：78名　売上高：23億円

醤油・オリーブ等（香川県）
～小豆島ブランドの確立等を通じた販路開拓～
400年の伝統を持つ醤油、オリーブ、地酒等を核に、地域産業ネットワークを構築。



徳島藍（徳島県）
～ジャパンブルーの「食」ブランド化～
日本一の藍産地、700年以上の伝統産業「阿波藍」を核に、地域産業ネットワークを構築。

ソウダガツオ（高知県土佐清水市）
～ダシ文化のベースとなる宗田節のブランド化～
180余年の伝統産業「宗田節」を核に、地域産業ネットワークを構築。
【中核企業】（データはH29年3月期）
・㈱土佐清水元気プロジェクト（土佐清水市）
資本金：6000万円 従業員：23名 売上高：2億円
・土佐食㈱（土佐清水市）
資本金：7300万円　従業員：190名　売上高：16億円

四国地域商社ネットワーク
リバースプロジェクトトレーディング
伊藤忠ファッションシステム　etc

雄大な自然環境・観光資源
歴史・伝統技術 食文化
地域中核企業の発掘・育成
日本有数の豊かな食資源

四国地域商社ネットワークによる総合的サポート
- 四国としての広域連携プロジェクト
- 有名シェフとのコラボによるメニューコンサルとプロモーション
- 国内外の食のキーパーソンとの連携
- 戦略的な情報発信

世界に通用するブランドの確立
国内外への販路拡大
インバウンド需要の拡大　等

四国ブランディングプロジェクト

四国から、つながる、広がるネットワーク構築

～地域共創（Co-Creation）～